



兄弟が変えた、  
戦国の運命。

NHK大河ドラマ  
特別展

# 豊臣兄弟



2026  
7.8<sup>WED</sup> (水) ▶ 8.31<sup>MON</sup> (月)



大阪歴史博物館  
Osaka Museum of History

開館時間：午前9時30分～午後5時 ※入館は閉館の30分前まで

休館日：火曜日 ※ただし、8月11日(火・祝)と翌12日(水)は開館

主催：大阪歴史博物館、NHK大阪放送局、NHKエンタープライズ近畿  
後援：公益財団法人 大阪観光局 協賛：ライブアートボックス

前期展示：7月8日(水)～8月3日(月)／後期展示：8月5日(水)～8月31日(月)  
※会期中、一部の作品は上記以外にも展示替を行います。

画像左：愛知県指定文化財 豊臣秀吉像(部分) 南化玄興鏡 桃山時代 17世紀 愛知・妙興寺蔵[後期展示]  
画像右：豊臣秀吉像(部分) 文禄2年(1593) 京都・大光院蔵[後期展示]

イベント

● 記念講演会

【時間】午後1時30分～3時(受付:午後1時～)

- 1 2026年7月18日(土)「豊臣兄弟と小堀遠州」 講師:遠州茶道宗家 家元 小堀宗実氏
- 2 2026年8月22日(土)「豊臣秀吉と大坂城」 講師:大阪城天守閣 研究主幹 跡部 信氏

● 学芸員によるスライドトーク

【時間】午後1時30分～3時(受付:午後1時～)

展覧会の見どころをわかりやすく解説します。

- 3 2026年7月11日(土) 講師:大阪歴史博物館 学芸員 岡本 健、谷口正樹
- 4 2026年8月8日(土) 講師:大阪歴史博物館 学芸員 北上真生

● 秀長お城サミット

【時間】午後0時30分～3時40分(受付:正午～)

- 5 2026年8月1日(土) 秀長に関わる城郭(竹田城、有子山城、大坂城、姫路城、和歌山城、郡山城ほか)について、所在する自治体学芸員が集結し、秀長の戦略や政策のなかで城が果たした役割や、それぞれの城の魅力について語り合います。

※各日、会場は大阪歴史博物館講堂(4階)

※各日定員250名、聴講無料(ただし、1～5各イベント実施日の本展覧会の観覧券が必要)。

※参加方法は4階講堂前で1～4は午後0時30分より、5は午前10時より整理券を配布(先着順、1名1枚)。

音声ガイド

大河ドラマ「豊臣兄弟!」の主人公・豊臣秀長を演じる仲野太賀さんが、本展音声ガイドのナビゲーターをつとめます。アナウンサーの渡邊あゆみさんのナレーションを織り交ぜながら、兄弟で成し遂げた天下一統の軌跡をたどります。



ナビゲーター  
仲野太賀(俳優)

貸出料金  
会場レンタル版  
700円(税込)  
アプリ配信版  
「聴く美術」  
800円(税込)  
acoustiguide



※アプリ配信版を展覧会場内でご使用の場合は、ヘッドホンもしくはイヤホンをご持参ください。

チケット

観覧料(消費税込)	大人	高大生
前売・団体	1,800円	800円
当日	2,000円	1,000円

※団体は20名以上 ※中学生以下、障がい者手帳等をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料

※前売券・グッズセット券販売期間:4月15日(水)～7月7日(火)

※高校生・大学生の方は学生証をご提示ください。

※大阪市内在住の65歳以上の方も有料です。

※主なチケット販売所 展覧会公式チケット(オンライン)、ローソンチケット(Lコード:53111)、セブンチケット(セブンコード:114-940)、チケットぴあ(Pコード:687-427)ほか(チケット購入の際にプレイガイドにより各種手数料が発生する場合があります。)

● グッズセット券

①「花押の兄弟!」てぬぐいセット券

4,000円(税込)  
大人のみ

大阪会場限定カラー  
200枚限定



秀吉と秀長の花押を一枚の手ぬぐいにデザイン。花押とは、現代で言うところのサインで、本人であることを証明するために使われ、重要なアイテムでした。紺色は大阪会場限りのカラー、数量限定です。

サイズ:W34×H90cm/注染/色味はイメージになります。

②「秀吉の馬印・千成瓢箪」ネックピローセット券

8,500円(税込)  
大人のみ

150個限定



2WAY仕様!

馬印とは、武将が戦場で自軍の位置を示すための「旗印」です。秀吉は戦いで勝利するたびに馬印に瓢箪をさげたと伝えられ、功績を重ねるごとに瓢箪の数が増え、たわわに実った様子を「千成(多く実る)」と呼びました。コンパクトな瓢箪のぬいぐるみを広げるとネックピローに変身!旅のお供にぴったり!数量限定です。

サイズ:瓢箪ぬいぐるみH25×W20cm程度/ネックピロー30×32cm  
イメージ画像

※各種グッズは本展覧会中・開催日・開館時間に限り、本展覧会の特設ショップレジカウンターでお引き換えください。

※①②は限定数量上限に達しない場合のみ、本展覧会場特設ショップで販売します(なくなり次第終了)。

熱い兄弟が夢と希望を胸に突っ走る  
奇跡の下剋上サクセスストーリー!

大河ドラマ

# 豊臣兄弟

【出演】仲野太賀、池松壮亮ほか

毎週日曜午後8時～絶賛放送中!

毎週日曜 **G** 午後8時 **BS BSP4K** 午後6時 **BSP4K** 午後0時15分



※展覧会の内容等の詳細は、展覧会公式サイト(https://toyotomi2026.jp)をご覧ください。

※会期等は諸事情により変更する場合があります。

ご来館の際は大阪歴史博物館ウェブサイトや展覧会公式サイト等で最新情報をご確認ください。

展覧会公式X

@toyotomi2026

展覧会公式サイト

https://toyotomi2026.jp



展覧会公式サイト



大阪歴史博物館  
Osaka Museum of History



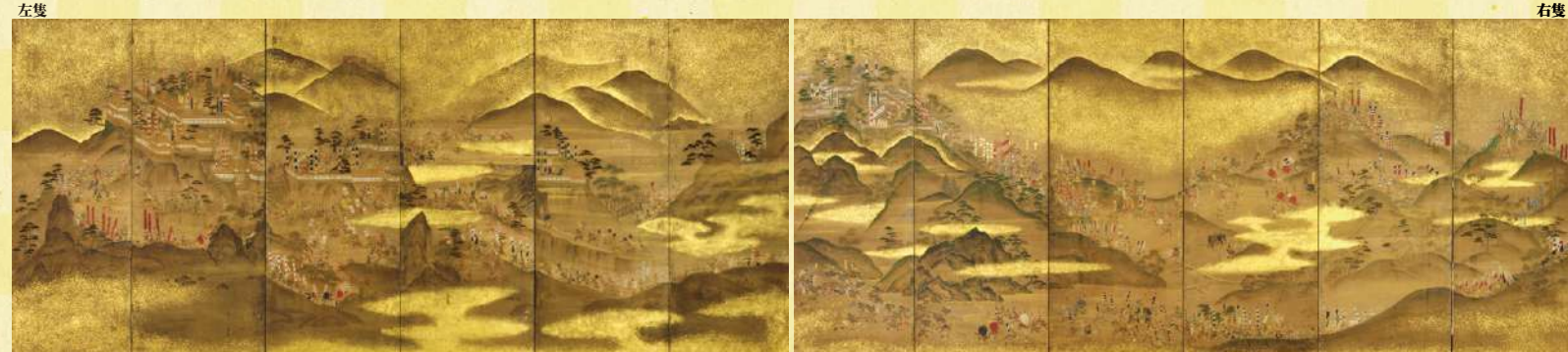
〒540-0008 大阪市中央区大手前4丁目1-32  
https://www.osakamushji.jp/

【お問い合わせ】なこコール:06-4301-7285(午前8時～午後9時 無休)  
【最寄駅】Osaka Metro谷町線・中央線「谷町四丁目」駅 ②号・⑨号出口、  
大阪シティバス「馬場町」バス停前



左隻 右から4曲目  
「羽柴美濃守之」とは、秀長の陣営を指し示しています。

右隻 右から5曲目  
「秀吉公」の文字や秀吉の馬印の瓢箪を見つけることができます。



賤ヶ岳合戦図屏風 江戸時代 長野・佐久市教育委員会蔵 [左隻は前期展示、右隻は後期展示]  
信長亡き後、柴田勝家と秀吉による跡目争いの戦いの様子が描かれています。

天下一統を目指し、兄弟で出陣

# 強い絆で天下一統！

## 兄を支えた名ネゴシエーター、秀長

2026年の大河ドラマ「豊臣兄弟！」は、「彼が長生きしていれば豊臣家の天下は安泰だった」とまで言わしめた豊臣秀長の目線で、戦国時代をダイナミックに描く物語です。  
本展覧会ではドラマと連動し、豊臣秀長と兄・秀吉、彼らをとりまく織田信長、徳川家康、黒田官兵衛、藤堂高虎、千利休、高台院らゆかりの品々をはじめ貴重な歴史資料を紹介。  
兄弟の生き様、二人が駆け抜けた時代を浮き彫りにします。

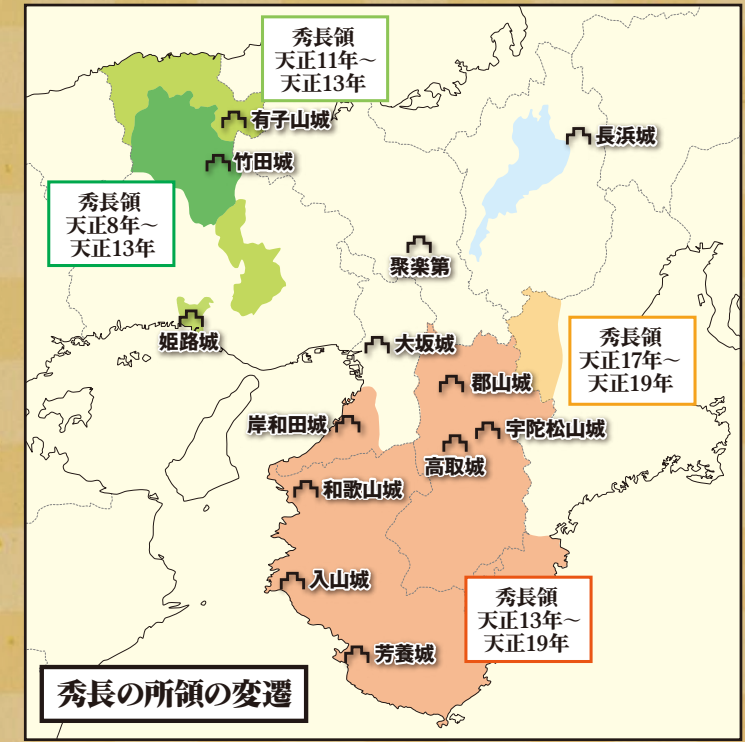
### 天下を支えた家臣が映す秀長像 ～秀長と高虎～

秀長のもとには、横濱一庵や小堀正次、藤堂高虎、桑山重晴など多くの優れた家臣が集まり、軍事や領国支配の面で秀長を支えました。彼らは互いに姻戚関係を結び、強い結束力を持っていました。  
秀長の家臣の中で、後に最も出世した人物が藤堂高虎です。築城の名手として知られる高虎は、天正4年(1576)から秀長に仕え、各地を転戦しながら主君を支えました。秀長は領国(下図参照)を留守にすることが多かったため、現地の統治を家臣に任せていました。その結果、高虎のように軍事だけでなく政治にも優れた人材が育ちました。  
秀長の死後、高虎は後継者である秀保(甥、婿養子)を支えます。さらに、秀長の菩提寺である大光院を守り、京都へ移しました。以後、大光院は江戸時代を通じて、高虎の子孫によって守り続けられました。今回展示される「豊臣秀長像」(チラシ表面掲載作品)は、その大光院に伝えられたものです。  
このことは、高虎の深い忠誠心を示すと同時に、家臣から長く敬われた秀長の度量の大きさを物語っています。

秀長家臣  
ゆかりの品が勢ぞろい



紅糸胸白威二枚胴具足 江戸時代 17世紀 大阪城天守閣蔵 [通期展示]  
藤堂高虎が大坂冬の陣で着用した具足で、胸板や兜の吹返には藤堂家の鳥紋があしらわれています。



### 秀吉から秀頼、そして家康へ



重要文化財 刀 無銘 一文字 名物 南泉一文字  
鎌倉時代 13世紀 愛知・徳川美術館蔵 [前期展示]  
覇気のある姿に絢爛華麗な重花丁子の刃文を焼いた、天下人を魅了した名物です。



桃山ファッション  
浅葱地入子菱花丸紋散模様厚板  
桃山時代 16～17世紀 東京・国立能楽堂蔵 [通期展示]  
厚板は能装束の一つで、中国から舶載された錦や唐織など厚手の織物で仕立てられたことからの呼び名です。色とりどりの文様が織り出され、桃山時代特有の仕立てが見られます。

### 一国に値する茶入

唐物茄子茶入 付藻茄子 大名物  
中国・南宋～元時代 13～14世紀  
東京・静嘉堂文庫美術館蔵 [8月19日～8月31日展示]  
松永久秀が織田信長に献上したことで大和一国の領地を安堵されたとも伝わっています。秀吉・家康と時の天下人が所持しました。



羽柴秀吉書置 羽柴秀長宛  
天正11年(1583)3月晦日 滋賀・長浜城歴史博物館蔵 [7月8日～7月27日展示]  
賤ヶ岳合戦の際に秀吉から秀長に送られた書状です。前線の指揮を執る秀長に対して、秀吉が細やかな指示を与えています。

兄から弟へのメッセージ



郡山城跡出土瓦 16世紀 奈良・大和郡山市蔵 [通期展示]  
大坂城跡出土瓦 16世紀 大阪市教育委員会蔵 [通期展示]

### 瓦の豊臣兄弟

秀吉の大坂城と秀長の郡山城から、同じ型で作られたとみられる瓦が出土しました。兄弟が瓦を生産する道具や仕組みを共有していたことが推測できます。



竹茶杓 歌銘 面影  
江戸時代 17世紀 愛知・徳川美術館蔵 [通期展示]  
大名茶人として知られた小堀遠州(正一)の作。和歌に因んで名付ける歌銘は、小堀遠州が創始したとされています。遠州は、王朝時代の幽玄と中世の侘びとを融合させた新たな美意識である「綺麗さび」を確立しました。

秀長家臣、小堀遠州のちに茶の大家へ



慕われる秀長、永遠に



肩衝茶入 銘 薬師院  
中国・南宋～元時代 13～14世紀  
兵庫・香雪美術館蔵 [通期展示]  
秀長所用と分る唯一の茶入で、天正15年(1587)正月に大和郡山で行われた茶会では、秀長がこの茶入を用いたことが知られています。

数少ない秀長所用品

### 秀長家臣、桑山元晴が所用。15年ぶりの公開



国宝 短刀 名物 桑山保昌  
銘 高市住金吾藤貞吉 元享二年甲子十月十八日 元享4年(1324) 個人蔵 [通期展示]  
うねるような柃目肌や肩が張った素剣の彫刻に力強さがみぎる、大和保昌派の最高傑作。

豊臣秀長公像  
寛永7年(1630) 奈良・壺阪寺蔵 [通期展示]  
像高99cmの等身大の坐像で、秀長に仕えた大和高取城主・本多因幡守俊政によって壺阪寺に寄進されました。

### 描かれた天下人・秀吉の城

聚楽第図屏風 桃山時代 16世紀 東京・三井記念美術館蔵 [前期展示]  
聚楽第築城から間もない頃に制作されたと考えられます。聚楽第は秀吉の天下を示す城であるが、その様子を伝える貴重な作品。

